

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／村木雅直

URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

| | | | | |
|----|-----------------|-----|---------------------|-------|
| 目次 | 後援会会長、学長、学部長等挨拶 | 1～2 | 就職活動と支援・就職状況 | 9～10 |
| | 卒業式 | 3 | 進学先・就職先一覧 | 11～12 |
| 次 | 入学式 | 4 | 資格取得等報奨制度 | 13 |
| | 学生活動だより | 5 | 後援会総会・令和5年度決算(収支報告) | 14 |
| | 入学状況 | 6 | 令和6年度予算・役員名簿・編集後記 | 15 |
| | 大学紹介 | 7～8 | 令和6年度学年暦・行事 | 16～17 |

始まりました。来年3月には完成の見込みです。1階は学生も集うオープンスペースとなります。3年間続



棟「の建設が
シアティブ
の「イニ
携研究のた
備事業」に
よる産学連
携の施設整
究の設置整
携・共同研
究の産学連
携による産
業の発展に
竹村学長

ある研究大学の連携による産学連携
竹村彰通

学長挨拶

願います。後援会の活動にご協力よろしくお
も、交通費の支給等を手当てさせて
いただいたところ、県外の方にも役
員になっていただきました。今後と
も後援会の活動にご協力よろしくお
願います。



村木後援会会長
村木雅直

引き続き、
会長を務め
させていただきます
村木です。

いたコロナ禍は幸い落ち着きを見
せ、今年度はクラブ活動などもコロ
ナ以前と同様に開催されています。
昨年秋には彦根キャンパスの100
周年記念事業を盛大に行うことが
できました。記念植樹や石碑の設置も
行いました。保護者の方々も是非、
一度キャンパスにおいでください。

経済学部長挨拶

能登真規子



能登学部長
能登真規子

後援会の皆さまにおかれまして
は、滋賀大学経済学部の教育研究に
ご理解とご支援を賜り、心より感謝
申し上げます。
今年度は、学生たちのにぎやかな
部活・サークルへの勧誘活動の声と
ともに始まりました。

が、力強く復活を遂げており安堵し
ております。

学部改組により導入された3年次
からの専攻の選抜手続(レイトスペ
シヤライゼーション)を今秋初めて
実施します。学生の皆さんが大学入
学後の自身の学びをふり返り、より
深い専門性を身につけていく契機と
なることを願います。

データサイエンス学部長挨拶

市川治

データサイエンス学部長の市川治
です。私自身、娘の高校時代のPT
A活動に積極的に参加したこともあ
り、後援会の活動にはとても親しみ



市川学部長

はまだまだ自分を確立できておら
ず、様々なことで悩んだり、生活リ
ズムが乱れたりしやすい時期でもあ
ります。私はこの時期を「最後の親
バカ時代」と呼んでいます。どう
ぞ、子供たちの生活に積極的に関与
してあげてください。友人の名前や
先生の名前を覚えてお話を聞きた
い日が続くようなら声掛けしてあ
げてください。

大学院経済学研究科長挨拶

岡本哲弥

平素より滋賀大学の教育研究
にご理解とご支援を賜り、感謝
申し上げます。
昨年度、経済学部は創立10
0周年を迎えました。経済学
0周年も半世紀を超え、歴史を
研究科も半世紀を超え、歴史を
有してまいります。そうした博
のうえに、本年度、新たに博士
前期課程に日本初の経営分析学
専攻が立ち上がり、経済・経営
学領域の学問的専門性と多様性
の上、データサイエンスの
法論が強化されます。
今後、国立大学最大の規模
と多様性を誇る経済学部の規
ソースをを活かし大学院教育の
プログラムの充実を図り、新し
組んで参ります。

大学院データサイエンス 研究科長挨拶

飯山 将晃

平素よりデータサイエンス研究科の教育・研究にご支援を賜りありがとうございます。本年度よりデータサイエンス研究科長に就任いたしました飯山将晃です。研究科も6年目を迎え、これまで大学院を修了した学生たちも製造・IT・金融・サービズ・公務員等、様々な分野で活躍しています。来年度の大きな変化として博士前期課程定員の80名への増員があります。これは社会からの滋賀大学データサイエンス人材のニーズの高さに対応したものです。これからも実践力のある高度データサイエンス人材を育てていけるよう努力して参ります。

経済学部副学部長挨拶 総務・企画担当

石井 利江子

マスクの着用が自由になったことで学生たちが一層楽しそうに新年度を迎え、教員としても顔と名前を一致させることが容易になり、嬉しく思う今日この頃です。学部の直面する制約は年々厳しくなりますが、総務・企画担当として、より効果的な教育を目指し、学部の様々な仕組みの改善に取り組みたいと思います。

学務・学生生活担当

西村 正秀

昨年度から大学の講義も原則的に対面に戻り、キャンパス内の学生数も徐々に増えてきた印象です。夜間主の廃止や来年度から始まる3回生からの専攻配属などに伴い、学務に関するも様々な変更が行われておりますが、学

生・事務職員・教員に対する丁寧なサポートを心がけていく所存です。

入試・広報担当

可児島 達夫

経済学部の今年度入試では、夜間主廃止や特別選抜の変更があります。経済学を始め多様な社会科学理論を深く学び、様々な社会課題に対応できる人材の育成には、多様な背景や視点を持つ学生が不可欠です。そのために、筆記試験のほか面接やエッセイなど多面的な選考方法を採用し、受験生の個性や意欲の正しい評価に努めます。皆様には変わらぬご支援をお願い申し上げます。

大学院経済学副研究科長挨拶

陳 韻如

4月に博士前期課程に日本初の経営分析学専攻を開設したことで、新しい専攻のソフトウェアや大学院運営体制の整備が今年のミッションとなります。選抜方法の再検討やカリキュラムの強化などの制度改革を始め、多様化した学生間の交流や外部機関との連携も図れるよう大学院教育全体の質の向上に取り組んでいきたいと思っております。

データサイエンス学部副学部長挨拶 総務・企画担当

椎名 洋

4月より、データサイエンス学部副学部長(総務・企画担当)を拝命いたしました。椎名です。来年度より、学部の定員が100名から150名に増えるなど、データサイエンス学部は組織として大きな変革の時期を迎えております。優れた教育・研究を実践する

ために、引き続き後援会の皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

学務・学生生活担当

佐藤 健一

昨年度に続き2年目になります。後援会役員会に出席することで、その活動が多岐にわたっていること、また、学生の学業や豊かな学生生活を送る上で欠かせない支援を受けていることが分かりました。学務・学生生活担当として学生にとってメリットがある提案ができるように努めたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

入試・広報担当

佐藤 正昭

今年度は、入試・広報担当を拝命しております。Society5.0時代を牽引するデータサイエンス分野において、データサイエンス学部及び研究科は、来年度から大幅に定員が増え、かつ選抜方法も大きく変更される部分があります。これらに対応すべく、しっかりと入試業務を遂行していきたいと考えております。ご支援よろしくお願申し上げます。

大学院データサイエンス研究科 副研究科長挨拶

村松 千左子

本年度、副研究科長を拝命し大学院の学務を担当いたします。今年度からは一部の講義でMBANコースの学生も加わり、来年度には定員が80名となります。対面とオンライン参加のハイブリッド形式に加え、大人数講義の難しさも増しますが、環境整備と講義科目の充実を図って参ります。引き続きご支援をお願いいたします。

データサイエンス学部



後列：村松副研究科長 佐藤(正)・佐藤(健)各副学部長
前列：飯山研究科長 市川学部長 椎名副学部長

経済学部



後列：可児島・西村各副学部長 岡本(哲)研究科長
前列：石井副学部長 能登学部長 陳副研究科長

令和5年度卒業式

3月25日、大津市のびわ湖ホールにて令和5年度滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修士学位記、特別支援教育専攻科修士学位記を挙行しました。今年度は、教育学部223名、経済学部430名、データサイエンス学部97名、大学院教育学研究科修士課程1名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）25名、大学院経済学研究科博士前期課程25名、大学院経済学データサイエンス研究科博士前期課程46名、特別支援教育専攻科8名、大学院経済学研究科修士学位記授与者2名、また、滋賀大学初となる大学院データサイエンス研究科修士学位記授与者2名の合計859名が滋賀大学を巣立ちました。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行してから初めての式展となり、多くの保護者・ご来賓の皆様にご来場いただき、晴れの日をご慶びいただきました。式典は2部制（第1部は教育学部・大学院教育学研究科・特別支援教育専攻科、第2部は経済学部・経済学研究科・データサイエンス学部・データサイエンス研究科）で開催し、出席できなかった方に向けて式典のライブ配信を行いました。



竹村学長から学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞では「新しい時代のお前線に立つ皆さん、本日は本当におめでとうございます。滋賀大学で卒業した諸先輩は、社会のあらゆる場面で活躍しています。今日卒業する皆さんの活躍の場は大きく広がっています。あらためて皆さんの新しい門出を祝福いたします。」と卒業生へはなむけの言葉が贈られました。続いて在校生代表からお祝いと感謝の言葉が贈られ、卒業生代表からは「本日の卒業式を機に、私たちはそれぞれが選んだ道へと進むことになりました。今後さらに学問の道に進む者も、就職し社会貢献に邁進する者も、それぞれが決めた進路において、新たな価値を生み出し、より良い社会の実現に向けて精一杯努力することを、ここに決意いたしました。」と今後の決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。

また、式展では学部、大学院、専攻科から特に学業成績が優秀だった方が代表者として卒業証書等の授与を受ける共に、学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げられた方は学業成績優秀者学長賞の表彰を受けられました。

代表者及び学業成績優秀者に選ばれることは、非常に名誉なことであり、それぞれの方々の不断の努力に敬意を表して、以下にご紹介いたします。

卒業証書等授与代表者

教育学部

学校教育教員養成課程 酒井翔大

経済学部

社会システム学科 橋本 昂星

データサイエンス学部

データサイエンス学科 川口 陽子

大学院教育学研究科

専門職学位課程高度教職実践専攻 林 正人

大学院経済学研究科

博士前期課程 経済学専攻 高橋 秀征

大学院データサイエンス研究科

博士前期課程 データサイエンス専攻 吉野 航

大学院経済学研究科

博士後期課程 経済経営リスク専攻 張 璟霞

大学院データサイエンス研究科

博士後期課程 データサイエンス専攻 今井 綾乃

特別支援教育専攻科

障害児教育専攻 菊池 元太

教育学部

学校教育教員養成課程 田中 清佳

学業成績優秀者学長賞表彰者

教育学部 松来 丈音

経済学部 橋本 昂星

社会システム学科 阪本 乃愛

データサイエンス学部

データサイエンス学科

令和6年度入学式

4月4日、大津市のびわ湖ホールにて令和6年度滋賀大学入学式を挙行しました。今年度は教育学部236名、経済学部510名、データサイエンス学部108名、大学院教育学研究科専門職学位課程29名、大学院経済学研究科博士前期課程30名、大学院経済学研究科博士後期課程2名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程53名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程4名、特別支援教育専攻科7名の



竹村学長からの式辞

計979名が新たな学生生活をスタートしました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行してから初めての式典となり、多くの保護者・ご来賓の皆さまにご来場いただきました。式典は2部制(第1部は教育学部・大学院教育学研究科・特別支援教育専攻科、第2部は経済学部・経済学研究科・データサイエンス学部・データサイエンス研究科)で開催し、出席できなかった方に向けて式典のライブ配信を行いました。

教育学部・渡邊史准教授による学歌独唱からは始まり、入学生宣誓、来賓の祝辞、在学生による歓迎の辞、役職員の紹介の順で進行しました。竹村学長からは「世界は不安定になっていきますが、幸い平和な日本に住む私たちは、この平和を積極的に守っていくことが重要です。コロナ禍の終息もあり、いま日本には外国から多くの旅行者が来ています。その一つの理由は、日本が平和で安全だからだと思います。平和な国が経済や文化を進展させ、戦争をする国が衰退する。そのことによつて、世界がまた平和に向かっていくのではないのでしょうか。私たちはこのことを念頭において、日本を進展させていく必要があります。世界が不安定化する中で、日本は日本だけで存在することはできません。平和な日本に閉じこもっていることはいけません。日本のエネルギー自給率

は十数パーセントです。食料自給率は四十パーセント未満です。日本は世界との貿易で支えられているのです。日本は、世界の中でルールを守りつつ、他の国と競争していかねればなりません。滋賀大学は『湖国から世界へ』というキャッチフレーズを使っていますが、皆さんには世界と戦える人材になってもらいたいと思います。世界の変化を理解し、変化に柔軟に対応し、創造性を発揮できる人材の育成が大学教育に求められています。大きな変化の時代は、不安の時代であるとともに、可能性の開けた時代です。滋賀大学の中期目標のキーワードは未来創生大学です。世界が未曾有の変化に見舞われるなか、皆さんが滋賀大学での



入学生代表の宣誓

学びを通して、未来を切り拓く人材に育ってくださることを願っています。」と式辞がありました。

また、在学生代表からは「今日、この日をもって、皆さんは滋賀大学生です。そして、これからの滋賀大学の評価というのは、皆さん、お一人お一人が作っていくものであることを肝に銘じてください。国立大学滋賀大学の一員として、共に新しい時代を開拓していきましょう。」と歓迎の辞が述べられました。

新入生の皆さんが今後、滋賀大学で勉学に励み、充実した大学生活を送ることを願っています。



会場の様子

学生活動だより

学生が高齢者との

ペア観光プロジェクト実施

学生団体「滋賀大学チームスリーズ」が、高齢者と若者の交流、運動不足の解消、観光による地域の魅力再発見によって彦根の街を大学生から盛り上げたい・彦根に笑顔を増やしたいという思いから、大学生と高齢者がペアになって彦根の街を歩きながら観光し、交流を深めるイベントを3月29日に実施しました。

当日は地域の高齢者10名と留学生を含む学生9名がアルプラザ彦根4階に集合し、自己紹介の後チーム分けをして、準備体操を行い滋賀大学に向けて出発しました。プロジェクト実施前、高齢者と若者の交流の際に、高齢者同士・大学生同士で固まってしまうのではないかと懸念がありました。しかし、当日は高齢者と大学生でペアになり歩くことで、会話が盛り上がり、交流を深めていきました。

滋賀大学に到着後は、大学らしい雰囲気の大合併教室で昼食をとり、学生から大学紹介を行ったり、高齢者から学生生活について質問があったり、和

やかな時間を過ごしました。その後は講堂前にて記念撮影を行い、体調を考慮しながら夢京橋などの観光スポットを巡りさらに交流を深めてアルプラザ彦根まで戻りました。

今回、多くの高齢者、学生が参加して非常に満足度の高いイベントとすることができました。高齢者の方は若い世代との交流の機会を求めており、また大学生も地域の方との交流に関心があることから、ニーズの高いイベントだと感じました。また参加者の反応を見ると、高齢者の方は1〜3か月に1回の開催を望んでいることもわかりました。今回は交流と運動に焦点をあてた実施でしたが、次回は観光要素を強めた形での実施を検討していきます。

(文責・スリーズ代表 経済学部2 回生 藤本翔太)



ペア観光実施の様子



参加者集合写真

漕艇部の所属メンバーがNZ大学選手権で2種目優勝の快挙

3月30日〜31日にニュージーランドのカラピロ湖にて開催された「2024 Aon NZ University Rowing Championships」(NZ大学選手権)に、NZ・オタゴ大学のメンバーとして本学漕艇部から西村菜々花さん(データサイエンス学部4回生)と銚藤蓮さん(経済学部3回生)が出場



(左から)表彰式の西村さん、銚藤さん

し、Varsityクラスにおいて両者のクルーがダブルスカルとペアの2種目で優勝を果たしました。本学漕艇部のメンバーが海外の大会で優勝するのはこれが初となり、創部以来の快挙です。二人の活躍を祝福するとともに漕艇部の今後のますますの発展と活躍を期待しています。



表彰式の様子

大会結果

- Varsityクラス
- 女子ダブルスカル (Vrs W2)
- × 西村・銚藤 17艇中1着
- Varsityクラス
- 女子ペア (Vrs W2)
- 銚藤 14艇中1着
- 西村・

令和6年度 入学状況

入学試験状況

| 学 部 名 | | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|------------|--------|-----|-------|-------|-----|-------|
| 経済学部 | 昼間主コース | 410 | 2,662 | 1,496 | 492 | 424 |
| | 夜間主コース | 50 | 344 | 343 | 91 | 58 |
| | 3年次編入 | 20 | 59 | 59 | 32 | 27(*) |
| データサイエンス学部 | | 100 | 388 | 261 | 117 | 108 |

【大学院】

* 臺中科技大学の3年次編入5名を含む

| 研 究 科 名 | | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|-------------|--------|----|-----|-----|-----|-----|
| 経済学研究科 | 博士前期課程 | 32 | 62 | 49 | 33 | 30 |
| | 博士後期課程 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| データサイエンス研究科 | 博士前期課程 | 50 | 94 | 94 | 60 | 53 |
| | 博士後期課程 | 3 | 5 | 5 | 5 | 4 |

滋賀大学入学者一覧

| | | | |
|-------------|-------------|--------|----|
| 経済学部 | | 509(*) | |
| データサイエンス学部 | | 108 | |
| 教育学部 | | 236 | |
| 大 学 院 | 経済学研究科 | 博士前期課程 | 30 |
| | | 博士後期課程 | 2 |
| | データサイエンス研究科 | 博士前期課程 | 53 |
| | | 博士後期課程 | 4 |
| | 教育学研究科 | 教職大学院 | 29 |
| 特別支援教育専攻 | | 7 | |
| 入学者合計 | | 978(*) | |

* マレーシア政府派遣留学生等1名は外数

都道府県別入学者数

【経済学部(3年次編入は除く)】

| | | | | | | | | | | | |
|------|---|------|-----|----|-------|------|----|------|------|-----|--------|
| 北海道 | 7 | 1.5% | 石川県 | 3 | 0.6% | 兵庫県 | 30 | 6.2% | 高知県 | 3 | 0.6% |
| 青森県 | 1 | 0.2% | 福井県 | 14 | 2.9% | 奈良県 | 15 | 3.1% | 福岡県 | 6 | 1.3% |
| 宮城県 | 1 | 0.2% | 山梨県 | 1 | 0.2% | 和歌山県 | 3 | 0.6% | 佐賀県 | 2 | 0.4% |
| 山形県 | 2 | 0.4% | 長野県 | 4 | 0.8% | 鳥取県 | 6 | 1.3% | 長崎県 | 4 | 0.8% |
| 茨城県 | 2 | 0.4% | 岐阜県 | 46 | 9.6% | 島根県 | 1 | 0.2% | 熊本県 | 2 | 0.4% |
| 栃木県 | 1 | 0.2% | 静岡県 | 6 | 1.3% | 岡山県 | 15 | 3.1% | 鹿児島県 | 1 | 0.2% |
| 群馬県 | 2 | 0.4% | 愛知県 | 76 | 15.8% | 広島県 | 5 | 1.0% | 沖縄県 | 6 | 1.3% |
| 千葉県 | 2 | 0.4% | 三重県 | 19 | 3.9% | 山口県 | 3 | 0.6% | 留学生 | 12 | 2.5% |
| 東京都 | 5 | 1.0% | 滋賀県 | 62 | 12.9% | 徳島県 | 1 | 0.2% | | | |
| 神奈川県 | 2 | 0.4% | 京都府 | 43 | 8.9% | 香川県 | 3 | 0.6% | | | |
| 富山県 | 7 | 1.5% | 大阪府 | 50 | 10.4% | 愛媛県 | 8 | 1.7% | 合計 | 482 | 100.0% |

【データサイエンス学部】

| | | | | | | | | | | | |
|------|---|------|-----|----|-------|------|---|------|-----|-----|--------|
| 北海道 | 3 | 2.8% | 福井県 | 2 | 1.9% | 兵庫県 | 8 | 7.4% | 福岡県 | 1 | 0.9% |
| 宮城県 | 1 | 0.9% | 長野県 | 1 | 0.9% | 奈良県 | 2 | 1.9% | 熊本県 | 1 | 0.9% |
| 秋田県 | 1 | 0.9% | 岐阜県 | 2 | 1.9% | 和歌山県 | 1 | 0.9% | 沖縄県 | 1 | 0.9% |
| 埼玉県 | 3 | 2.8% | 静岡県 | 2 | 1.9% | 岡山県 | 2 | 1.9% | その他 | 1 | 0.9% |
| 千葉県 | 2 | 1.9% | 愛知県 | 11 | 10.2% | 広島県 | 1 | 0.9% | | | |
| 東京都 | 3 | 2.8% | 三重県 | 1 | 0.9% | 徳島県 | 1 | 0.9% | | | |
| 神奈川県 | 1 | 0.9% | 滋賀県 | 25 | 23.2% | 香川県 | 1 | 0.9% | | | |
| 新潟県 | 1 | 0.9% | 京都府 | 16 | 14.8% | 愛媛県 | 1 | 0.9% | | | |
| 石川県 | 1 | 0.9% | 大阪府 | 10 | 9.3% | 高知県 | 1 | 0.9% | 合計 | 108 | 100.0% |

大学紹介

経済学部の現況

経済学部長
能登真規子

●年度初めの様子

経済学部の新入生オリエンテーションは彦根キャンパス内で1年生が初めて一堂に会する機会です。人数制限が撤廃された大合併教室がほぼ満席になりました。教室の外で上級生達が部活サークルの勧誘をしようと列をなしていたのも印象的で、大学の春の風物詩が復活しました。

●入学者の状況

今年度の入学者者は昼間主コースが424名(定員410名)、夜間主コースが58名(定員50名)となりました。三次編入学は22名(定員20名)でした。

前期日程(定員172名)と後期日程(定員150名)を合わせた一般選抜の志願者は2476名で、昨年度の1995名より大幅に増加しました。ちなみに昨年度は前年度比約10%減(前年度志願者は2217名)でした。志願者数はほぼ隔年

で増減します。一般選抜の受験者は1313名、合格者は392名で、倍率は前期日程の国外型が3.0倍、数外型が3.1倍、後期日程の国外型が3.3倍、数外型が4.0倍でした。

特別選抜の入学者は、総合型選抜資格検定型が24名、学校推薦型Aが40名、学校推薦型Bが21名、私費外国人留学生在が12名でした。

令和7年度入学者選抜より、夜間主コース50名の募集を停止し、一般選抜前期日程・後期日程、総合型選抜の定員を変更します。22歳以上を対象とする社会人選抜を定員6名で開始します。

大学院経済学部研究科博士前期課程(定員32名)には62名の出願があり30名が、博士後期日程(定員3名)には3名の出願があり2名が入学しました。

●大学院経済学研究科

改組により経済学専攻、経営学専攻に続く第3の専攻が経営分析学専攻(MBAN)に生まれ変わりました。DX化によりビジネスモデルや組織の変革が求められているところですが、経営分析学専攻では経営分野とデータサイエンス分野をバランスよく探究していきます。企業から

の派遣社会人学生ばかりでなく、経済学部卒業生も2名が進学しています。

●授業の状況

本学経済学部では、現在、大多数の授業は対面での開講になっていますが、オンラインの活用も継続しています。今年度の春学期は、週に10コマが同時双方向のオンライン、14コマがオンデマンド型のオンラインの授業形態で開講されています。

社会とのつながりも重視しています。今年度の春学期は、連合滋賀、滋賀県不動産鑑定士協会による連続講義が開講されています。陵水会員(本学部卒業生)4名による

「Principles of Business Management」では、グローバルに展開する製造業について英語で講義をしていただいています。

特別コースの再編拡充後2年目となりました。グローバルコース1期生は2学期目のライティングとプレゼンテーションのクラスを受講中です。データサイエンス・コースは、各自、初歩的な科目から履修を進めていき、入学時と2年次春学期終了時に20名ずつのコース生が選抜されます。

大学院では、従来の経済学系教員による特講や演習の他、データサイエンス研究科との共通科目やMBANに適した科目が新たに開講されています。社会人院生が増える中、野村総合研究所の実務家教員による授業の役割も高まっています。

●経済経営研究所

気鋭の研究者をお招きして、「先端研究だけど気軽に質問できる」を合言葉にセミナーを精力的に開催しています。学部学生も多く参加していますし、どなたでもご聴講いただけます。

<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/ebnrs/>



セミナーとラウンジセッションの風景

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

市川 治

滋賀大学データサイエンス学部および大学院では、毎年2月に卒業研究発表会と修士論文発表会が行われます。今年も、金融・流通・自治体・製造・農業・情報サービス・漁業・人事・教育、いろいろな分野でレベルの高い発表がありました。

「データサイエンスは具体的な社会問題を解決しているのだぞ」と再認識いたしました。企業データを利用した実践的な教育と、統計分析・AI（機械学習）・IT・調査などの各領域をバランスよく学べる強みがいかななく発揮された結果です。

卒業・修了したときに、社会や会社の具体的な問題を解くスキルを身につけられる。それこそが、データサイエンス学部・大学院を志向する理由です。今年も、志を同じくする精鋭たち、学部108名、大学院修士53名、博士4名が入学してきました。ちなみに学部の新入生オリエンテーションにて私が挨拶のスピーチをした時には、全員が前を向いて強い視線を私に送ってくれたのが印象的でした。新入生の志の高さ

を感じています。

就職実績も年々良くなっています。主観になりますが、数年前と比較してより多くの学生が有名企業から内定をもらってくるようになったと感じています。特に直近ではコンサルティング大手のアクセンチュアに学部卒と修士卒を合わせて7名の就職が決まったことは印象的でした。情報通信業、製造業、金融業、小売業、輸送業など幅広い業種に就職している傾向は従来どおりです。

さて、滋賀大学データサイエンス学部は新しい挑戦を始めます。2017年に一期生が学部に入學してから丸7年が経過しました。昨今のブームに乗って、都市部の私大を中心にデータサイエンスを謳う学部が増えてきています。また文科省主導の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度によりリテラシーレベルの認定を受けた大学が382件、応用基礎レベルの認定を受けた大学・学部（学科）が147件あり、（いずれもR5年8月時点）データサイエンスを教えているという大学は全国に豊富にあるという時代となりました。この状況を踏まえ、滋賀大学データサイエンス学部

は次の領域へ教育と研究を拡張し始めています。

●生成AI

●メディアアート

生成AIは、ChatGPTに代表される大規模言語モデルを利用したテキスト生成技術や、Stable Diffusionに代表される拡散モデルによる画像生成技術を含みます。最近では音楽生成技術も台頭してきました。これらの技術を理論的に理解し、活用できる人材が求められています。私たちの学部も、昨年の秋学期科目として、「（データサイエンス特論B）生成AIの理論と活用」という講義を開講しました。他大学よりも早い取り組みであったと自負しております。

生成AIが文章や画像や音楽を作成することができるようになったので、今後はデータサイエンスとアートとは急速に融合していきます。昨年8月に滋賀大学は国立音楽大学と連携協定を結び、すでに、学生レベルのコラボレーションが始まっています。例えば、滋賀大学の学生がデータサイエンスの技術で生成した音楽部品を、国立音楽大学の学生が

曲に仕上げるといった活動が行われています。

こういった新しい挑戦によるモチベーションを蓄積することで新たな受験者層を取り込み、滋賀大学データサイエンス学部はさらに大きくなります。R7年度入学者から、学部の入学定員をこれまでの100名から150名に増やします。また修士の入学定員を50名から80名に増やします。

さらに、入試制度を改革して多様な人材を獲得できるようにします。総合型選抜では、これまで課せられていた大学入学共通テストの得点条件を廃止しました。また女子枠を導入します。後期日程試験では、共通テスト3科目と面接で受験できる枠を設けます。商業高校ならびに工業高校、私大型受験生からも優秀な学生が入学してくることを期待しています。これに加え、高専からの3年次編入も始まります。目下、受け皿を大きくしつつ、教員の確保にも奔走しているところです。

後援会の皆様からこれまで以上にお知恵を拝借することになると思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



就職支援体制について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

平素より学生の就職支援に格別のお力添えを賜り心より御礼申し上げます。

彦根キャンパスにおける学生への就職支援体制についてご説明させていただきます。彦根キャンパスにおいては経済学部、データサイエンス学部で学ぶ学生、及び経済学研究科、データサイエンス学研究科で学ぶ大学院生に対して各自が選択する進路に向けて様々な情報を提供しております。外部環境の変化、学生気質の変化に対応しながらすべての学生が希望する進路選択ができることを目標として様々なプログラムを提供いたしております。それらプログラムの紹介させていただきます。

大学が整備している就職支援体制

滋賀大学では学生の就職活動をサポートするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生の就職活動を専門演習担当教員、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは就職活動をサポートするシステム、制度をご紹介します。

●滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUGCESS: Shiga University's Campus Computer Education Support System)

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、企業からの連絡、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。学生とのコミュニケーションツールとして効果的に機能しているシステムです。

●彦根キャンパス求人情報提供システム

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス在学生専用の情報システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報とインターンシップに関する情報などを提供します。学生が企業研究のための資料として活用することもできます。客観的で正確な情報である求人票を軸に就職活動を進めることを指導しております。

●就職支援室での就職相談

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時30分から16時30分までの対応で、面談方法は対面とオンラインとのハイブリッド形式で実施しております。主な相談内容は

- ◆進路選択についての相談
- ◆個人面接、集団面接の模擬訓練
- ◆エントリーシート、履歴書の添削

◆求人票送付企業の紹介
などです。時間内であれば予約なしで対応しております。

●就職支援室での情報提供

企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供しています。

◆就職活動関連の書籍・雑誌・日本経済新聞等が自由に閲覧できます。

◆大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。

◆公務員、大学院、公認会計士、税理士等の専門職に関する情報を提供しています。

◆1回生から4回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラムこれらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。

滋賀大学卒業生による就職支援体制

滋賀大学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、左記のような支援が準備されています。

●学内合同企業説明会

本年は3月に対面で実施し、卒業生が就職してお世話になっている企業で、有名大手企業を中心に120社がご参加くださいました。4日間で延べ600人の学生が参加しました。

●陵水懇話会

卒業後25年の先輩方を中心に10数名にお越しいただき、業界紹介を中

心に働くということについてお話しただいております。卒業生が多く在籍する企業だけではなく、学生が志望する業界から卒業生をお招きしてリアルなお話しをお聞きできる機会となっております。

●陵水会計人会懇談会

伝統的に卒業生から公認会計士や税理士を多数輩出しております。その傾向は今も引き継がれており、今も多くの学生がこれらの資格試験に挑戦しております。先輩である現役の会計士・税理士の方々をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

《支部別就職支援行事の開催》

名古屋支部、大阪支部を中心に各支部でその地域で活動するOBが学生に地域ならではの情報を伝えるイベントを開催していただいております。コロナ禍の影響で開催が中止されておりましたが今後は復活していただける見込みです。

これら以外にも学生のOBOG訪問など様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

滋賀大学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの約100年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍しています。官公庁・教育界・学界へも進出しています。

就職状況

令和5年度就職状況について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

令和5年度はほとんどの企業が対面で選考を進めるようになりましたが、場面によっては対面とオンラインを上手く活用し、効率的に採用を進めようという傾向が強くなってきました。説明会、書類の提出、試験、面接など、ほとんどのプロセスをオンラインで実施し、最終面接のみを対面で実施する、という形が一般的となりました。

学生が提出を求められるエントリーシートへの記載内容は世の流れを反映してなのか何を学んだのか、どんな力を付けたのか、という問いが多くなっているように見受けられます。腰を据えた姿勢で学び続けることができるか、コツコツ諦めないで継続できるか、などが重要な要素であることも新たな傾向であります。

【データサイエンス学部生の活動】

データサイエンス学部生に対する求人はデータ分析専門企業、製造業、情報IT業、通信インフラ業など様々な業界から様々な職種でいただいています。学生も技術系専門職を目指す者、技術系総合職を目指す者、事務系総合職を目指す者と多様です。これに加えて総合商社やコンサルティング企業からも求人が寄せられております。これらを上手くマッチングさせるのが大学の役目となっております。企業から選考される、という受け身ではなく、企業と学生とがマッチングできるか、というのがデータサイエンス学部生の就職活動のベースとなっております。



就職活動ガイダンスの様子

【経済学部生の活動】

昨年からみられる業界の選び方の変化がより一層顕著となりました。今年も金融業、製造業に代わり情報IT業が業界別進路の筆頭となりました。この業界ではこれまで労働環境が悪いと言われてきましたが、最近ではいわゆるホワイト企業が数多くあり、安心して働ける環境が整いつつあります。求人数も飛躍的に増加しており、今後ますます多くの学生がこれらの業界に進路を取るものと思われれます。また地元に戻って働くことを希望する学生も増加する傾向にあります。これにより地元の地方銀行、信用金庫などの金融機関、もしくは地元製造業に進路を取る者も増加傾向です。この地元傾向の影響でしようが、メガバンク、生命保険、損害保険各社が地域総合職（総合職であるが転居を伴う異動がない）を新たに導入するようになりました。これによりエリアを固定する学生の選択肢が増えて参りました。

最後に長時間労働が悪と言われ、強いリーダーシップを発揮するとパワハラだと言われ、人材育成のために異動させると話が違うと言われ、企業からすればどう関わっていいの

かわからない暗黒の時代と感じている今日この頃です。「理不尽」への耐性が極めて弱い学生をどう採用するのか、どう育てていくのか、真つ暗なトンネルを走っている、これが企業採用担当者の本音だと思えます。そのような中で滋賀大学はコツコツ真面目に努力する、しっかりと勉強する、高いコンプライアンス意識を持つ、これらを採用担当者が感じることができ、そんな学生を世の中に送り出したいと思えます。引き続き皆様方のご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



○就職先内訳(産業別・業種別)

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists 219 companies and their employee counts by gender.

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists 132 companies and their employee counts by gender.

令和5年度就職状況【経済学部】

Table showing job status by route (進路別内訳) for the 2023 fiscal year, including counts for graduates and job seekers.

進学先・就職先一覧【経済学部】

Table listing advanced study and job destinations for the 2023 fiscal year, including university names and counts.

○就職先内訳(産業別・業種別)

Table showing job destinations by industry and sector, including counts for various fields like manufacturing, services, and education.

後援会資格取得等報奨制度について

「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。下表に記載しているサポート対象基準を満たすことにより、その功績をたたえ報奨金を給付するもので、報奨された学生からは「更なるステップアップのための資金としたい。」等との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生諸君からの応募を期待しております。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。今後も、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】
 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係
 TEL 0749-27-11030

令和6年度 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨金申請要項

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会（以下「後援会」という。）では、在籍する学生の勉学等を支援するため、後援会資格取得等報奨制度に基づき、在籍期間中に後援会が定める基準を満たした者に対して、報奨金を給付します。申請手続等は、次のとおりです。

- 対象者
 経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で（休学中を含む。）在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者
 ただし、後援会費を入学年度の9月末日（秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日）までに納入していない場合は対象としません。
- 申請基準等
 以下のとおりとします。ただし、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、以下に示す報奨額を上限とし予算の範囲内において決定しますので、減額する場合があります。

単位：円

| 分類 | サポート対象事項 | 基準 | 報奨額(上限) |
|--|--|---------------------------|---------|
| 資格・認定試験 | 1.日商簿記検定試験 | 「1級」合格者 | 70,000 |
| | 2.税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。) | ①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者 | 30,000 |
| | | 2科目同時合格者 | 50,000 |
| | 3.公認会計士試験 | ②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者 | 40,000 |
| | | 「短答式試験」合格者 | 50,000 |
| | 4.中小企業診断士 | 「論文式試験」合格者 | 100,000 |
| | | 「2次試験」合格者 | 50,000 |
| | 5.証券アナリスト試験 | 「第1次レベル試験」合格者 | 30,000 |
| | | 「第2次レベル試験」合格者 | 40,000 |
| | 6.応用情報技術者試験 | 合格者 | 30,000 |
| 7.情報処理技術者資格(高度試験) | 9区分からいずれか1科目合格者 | 50,000 | |
| 8.品質管理検定 | 「1級」合格者 | 50,000 | |
| 9.統計検定 | 「1級」の「統計教理」、「統計応用」いずれか1科目合格者 | 50,000 | |
| | 「1級」2科目合格者 | 20,000 | |
| | 「準1級」合格者 | 30,000 | |
| 語学試験 | 10.TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験での入学者及び外国人留学生は除く。) | 800点以上 | 30,000 |
| | | 900点以上 | 50,000 |
| | 11.英語以外の外国語検定試験 (右記の各検定試験を対象とする。) | ドイツ語技能検定2級以上 | 30,000 |
| | | 実用フランス語技能検定2級以上 | 30,000 |
| | | 中国語検定2級以上 | 30,000 |
| | | 漢語水平考試 (HSK) 5級以上 | 30,000 |
| | | スペイン語技能検定2級以上 | 30,000 |
| | | スペイン語検定 (DELE) B1以上 | 30,000 |
| | | 韓国語能力試験 (TOPIK) 4級以上 | 30,000 |
| | | ハンガール能力検定試験準2級以上 | 30,000 |
| | | 韓国語能力評価試験 (KLAT) 4級以上 | 30,000 |
| | | ロシア語能力検定試験2級以上 | 30,000 |
| | | ロシア語検定試験 (ТРКИ) 第1レベル以上 | 30,000 |
| 12. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。) | アジア圏 | 40,000 | |
| | その他 | 80,000 | |
| その他 | 13. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1~11に相当すると思われる事項 | 申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。 | |

- 注意事項
- 報奨の対象は、平成26年4月1日以降に基準を満たしたものである。
- 「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
- 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
- 編入学試験で入学した者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、学務課教務係まで事前に問い合わせること。
- 「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
- 「その他」の資格申請の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
- 「統計検定準1級」については、1級取得報奨金支給済の場合は申請できない。
- 「その他」で「全経簿記能力検定試験上級」を申請する場合、「日商簿記検定試験」と重ねて申請はできない。また、双方合格の場合でも支給額は上限70,000円とする。
- 「情報処理技術者資格(高度試験)」の対象資格は左下の表のとおり。申請はいずれか1つのみできるものとする。

| | | |
|-----------------|-----------------|---------------------|
| ITストラテジスト試験 | システムアーキテクト試験 | プロジェクトマネージャ試験 |
| ネットワークスペシャリスト試験 | データベーススペシャリスト試験 | エンベデッドシステムスペシャリスト試験 |
| ITサービスマネージャ試験 | システム監査技術者試験 | 情報処理安全確保支援士試験 |

令和5年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支計算書

令和6年3月31日

| 収 入 | | 支 出 | | 【会費収入内訳】 | | |
|--------|------------|--------|------------|--------------|-----------------|---------------|
| 前年度繰越額 | 21,311,530 | 支払済額 | 20,031,433 | 学部学生 | 564名 × @25,000円 | = 14,100,000円 |
| 会費 | 15,225,000 | | | 編入生等 | 26名 × @12,500円 | = 325,000円 |
| 利息(8月) | 132 | | | 大学院(前) | 54名 × @12,500円 | = 675,000円 |
| 利息(2月) | 111 | 次年度繰越金 | 16,505,340 | 大学院生(前・5年一貫) | 1名 × @6,250円 | = 6,250円 |
| 合 計 | 36,536,773 | 合 計 | 36,536,773 | 大学院生(前・1年制) | 1名 × @6,250円 | = 6,250円 |
| | | | | 大学院(後) | 6名 × @18,750円 | = 112,500円 |
| | | | | 計 | | 15,225,000円 |

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 支 出 額 | 差引残額 | 備 考 | |
|---------------------|------------|------------|------------|-------------------------------|--------------------------|
| ①厚生体育費 | | | | | |
| 補助 | | | | | |
| 学生行事補助 | 500,000 | 499,579 | 421 | 運動大会補助、学長表彰副賞、卒業祝賀会補助 | |
| 体育大会補助 | 1,620,000 | 1,619,000 | 1,000 | 滋和戦・全国大会出場者交通費・フレッシュマンキャンプ補助等 | |
| 部活動補助 | 1,000,000 | 842,053 | 157,947 | 体育系課外物品援助 | |
| 小 計 | 3,120,000 | 2,960,632 | 159,368 | | |
| ②文化活動費 | | | | | |
| 補助 | | | | | |
| 学生行事補助 | 680,000 | 680,000 | 0 | 開学祭、滋大祭補助 | |
| 部活動補助 | 800,000 | 612,070 | 187,930 | 文化系課外物品等援助、学外施設使用料援助 | |
| 小 計 | 1,480,000 | 1,292,070 | 187,930 | | |
| ③学務関係補助 | 2,500,000 | 811,572 | 1,688,428 | 学務関係諸経費補助、成績等送付経費、成績優秀者表彰等 | |
| ④図書充実費 | 800,000 | 799,436 | 564 | 図書購入費 | |
| ⑤体育充実費 | 800,000 | 754,793 | 45,207 | ゴルフ実習費、スキー教室経費、消耗品費等 | |
| ⑥就職補助費 | 1,800,000 | 1,710,868 | 89,132 | SPI対策講座補助、就活関連図書購入 | |
| ⑦団体分担金 | 240,000 | 31,210 | 208,790 | 会費、学会開催経費補助 | |
| ⑧研究所等補助 | | | | | |
| 研究所 | 340,000 | 340,000 | 0 | 資料購入・運営費等補助・学生懸賞論文副賞等 | |
| 史料館 | 70,000 | 70,000 | 0 | 資料購入・運営費等補助等 | |
| DS・AI/バージョン研究推進センター | 70,000 | 70,000 | 0 | 資料購入・運営費等補助等 | |
| 小 計 | 480,000 | 480,000 | 0 | | |
| ⑨入学式・卒業式等経費 | | | | | |
| 入学式 | 10,000 | 0 | 10,000 | | |
| 卒業式 | 10,000 | 0 | 10,000 | | |
| 役員会 | 250,000 | 212,108 | 37,892 | 役員会交通費、その他諸経費補助 | |
| 小 計 | 270,000 | 212,108 | 57,892 | | |
| ⑩広報費 | 600,000 | 426,085 | 173,915 | 後援会だより印刷費、送料、封筒印刷費 | |
| ⑪渉外費 | 学部渉外費 | 350,000 | 364,459 | -14,459 | オープンキャンパス飲物代、教員面接等交通費補助等 |
| ⑫総務費 | 庶務費・雑費 | 60,000 | 29,835 | 30,165 | 事務費(PDF編集ソフト)、通信費、切手代外 |
| ⑬資格取得等報奨金 | 3,000,000 | 3,181,900 | -181,900 | 資格取得等報奨金 | |
| ⑭情報教育充実費 | 1,000,000 | 812,555 | 187,445 | 学生用セキュリティソフト等 | |
| ⑮外国人留学生援助費(滋賀大学基金) | 100,440 | 100,220 | 220 | 外国人留学生援助金 | |
| ⑯繰越金活用事業 | 5,000,000 | 3,669,350 | 1,330,650 | テニス練習ボード修繕費、海外研修費補助 | |
| 計 | 21,600,440 | 17,637,093 | 3,963,347 | | |
| ⑰学部記念事業援助費積立 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 「事業準備費」に繰入 | |
| ⑱会議準備費積立 | 100,000 | 100,000 | 0 | 「会議準備費」に繰入 | |
| ⑲予備費 | 13,836,333 | 1,294,340 | 12,541,993 | 入学辞退者会費返還、事務補佐員人件費相当額等 | |
| 合 計 | 36,536,773 | 20,031,433 | 16,505,340 | | |

令和5年度 事業準備費 収支計算書

令和6年3月31日
(単位:円)

| 収 入 | 支 出 |
|--------------------|-----------|
| 前年度繰越額 | 5,906,368 |
| 収入 | 1,000,000 |
| 利息(8月分) | 27 |
| 利息(2月分) | 28 |
| 合 計 | 6,906,423 |
| 産根高商創立百周年記念事業支出 | 282,754 |
| 産根高商創立百周年記念事業支出予定額 | 0 |
| 次年度繰越予定額 | 6,623,669 |
| 合 計 | 6,906,423 |

令和5年度 会議準備費 収支計算書

令和6年3月31日
(単位:円)

| 収 入 | 支 出 |
|----------------------|-----------|
| 前年度繰越額 | 1,077,736 |
| 収入 | 100,000 |
| 利息(8月分) | 5 |
| 利息(2月分) | 5 |
| 合 計 | 1,177,746 |
| 12大学経済学部長・事務長会議支出予定額 | 0 |
| 次年度繰越予定額 | 1,177,746 |
| 合 計 | 1,177,746 |

令和6年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 備考 |
|--------------|------------|-------------------------------|
| 前年度繰越額 | 16,505,340 | |
| 会費(学部生) | 14,250,000 | 新入生570名×@25,000 |
| 会費(大学院生・前期) | 912,500 | 新入生73名×12,500 |
| 会費(大学院生・後期) | 56,250 | 新入生3名×@18,750 |
| 会費(編入・大学院1年) | 275,000 | 編入生等21名×@12,500、大学院1年2名×6,250 |
| 利息(見込み) | 170 | |
| 収入合計 | 31,999,260 | |

支出

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 備考 |
|---------------|------------|-------------------------------|
| ①厚生体育費補助 | 3,120,000 | 運動大会補助、大会費補助、体育系課外物品援助 |
| ②文化活動費補助 | 1,480,000 | 滋大祭等補助、文化系課外物品等援助、学外施設使用料援助 |
| ③学務・学生支援関係補助 | 1,500,000 | 学務関係諸経費補助、成績等送付経費、学生福利厚生設備補助等 |
| ④図書充実費 | 800,000 | 図書購入費 |
| ⑤体育充実費 | 500,000 | ゴルフ実習費、スキー教室経費、運動施設整備費等 |
| ⑥就職補助費 | 1,600,000 | SPI対策講座、就職指導経費等 |
| ⑦団体分担金 | 120,000 | 会費、学会開催経費・院生交流会経費補助 |
| ⑧研究所補助 | 480,000 | 資料購入・運営費等補助 |
| ⑨入学式・卒業式・役員経費 | 450,000 | 入学式・後援会説明会・卒業式経費、役員会会議費、交通費等 |
| ⑩広報費 | 250,000 | 後援会だより製作費、案内はがき・送料、封筒印刷費 |
| ⑪渉外費 | 500,000 | オープンキャンパス関係、学部運営費、教員面接交通費補助等 |
| ⑫総務費 | 100,000 | 消耗品、通信費、切手代等 |
| ⑬人件費 | 1,000,000 | 後援会事務局担当事務補佐員の人件費補助 |
| ⑭資格取得等報奨金 | 3,200,000 | 資格取得報奨金、振込手数料 |
| ⑮会計スペシャリスト育成 | 500,000 | 新設 |
| ⑯情報教育充実費 | 900,000 | 学生用セキュリティソフト等 |
| ⑰滋賀大学基金 | 100,440 | 旧・外国人留学生援助金 |
| ⑱繰越金活用事業 | 5,000,000 | |
| ⑲予備費 | 10,398,820 | |
| 支出合計 | 31,999,260 | |

令和6年度 後援会役員会名簿

| 役職 | 氏名 |
|-----|--------|
| 会長 | 村木 雅直 |
| 副会長 | 村松 由美 |
| 副会長 | 山川 友美 |
| 監事 | 土井 忠史 |
| 監事 | 中川 さゆり |
| 幹事 | 堀部 千夏 |
| 幹事 | 森野 陽子 |
| 幹事 | 坂野 高志 |
| 幹事 | 西尾 貞司 |
| 幹事 | 安積 愛子 |
| 幹事 | 宇野 孝志 |
| 幹事 | 戸谷田 知成 |
| 幹事 | 貝吹 行則 |
| 幹事 | 山之内 伸宏 |

後援会総会

本後援会の通常総会は、昨年度に規約第14条を改正し、通常総会は毎年5月に開催することに決まり、規約に即して5月の役員会の開催をもって総会に代えることになりました。今年度の総会は経済学部・データサイエンス学部の執行部が一新し、さらには、4名の新役員が決定するなど新体制で後援会を運営することになりました。今年度の入学式での後援会説明会を開催しご興味いただいた方も多く、大変嬉しく思います。ご参加いただきました皆さまお礼申し上げます。また、新役員は令和6年5月25日に開催された役員会で承認をいただいた旨、ご報告申し上げます。新体制で後援会を益々盛り上げていく所存であります。皆さま、一年間どうぞよろしく願い申し上げます。なお、内容に関するご意見・ご質問等につきましては、以下にお問い合わせください。

《お問い合わせ》滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部
総務・企画係 TEL: 0749-27-1030

編集後記

後援会だよりは以下のQRコードからでもご覧いただけます。
記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対するご要望、ご意見等をお聞かせください。

(送付先)

滋賀大学 経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係

E-mail: ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp



令和6年度 学年暦・主要な行事(予定)

《 春学期 》

(注) 変更される場合があります。

| 月 | 日(曜日) | 授業関係 | 就職関係 | その他 |
|----|-----------------------|--------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 3 | 21(木) | 成績発表(サクセス(Web)で確認) | | |
| 4 | 4(木) | 入学式(びわ湖ホール) | | 新入生オリエンテーション 「キャンパスライフ講習会」 |
| | 5(金) | 新入生オリエンテーション | | 新入留学生オリエンテーション |
| | 6(土) | 春学期授業開始 | | |
| | 15(月)、18(木) | | 公務員志望者向け就職ガイダンス | |
| | 23(月)、26(金) | | | 海外短期研修説明会 |
| | 29(月) | 授業日 | | |
| 5 | 7(火)、8(水)、10(金)、11(土) | | 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生) 【経済学部】 | |
| | 11(土) | | | 新入生歓迎マラソン |
| | 13(月)、16(木)、17(金) | | | 留学説明会(～カモンのにGO～) |
| | 13(月)、17(金) | | 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生) 【データサイエンス学部】 | |
| | 24(金)、25(土) | | 第1回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 28(火) | | 第2回就職ガイダンス(3回生) | 第35回滋賀大学グローバルセミナー |
| | 31(金) | | | 開学記念日 |
| 6 | 1(土) | | | 滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式 |
| | 1(土)～(10/31(木)まで) | | SPI対策講座(オンライン) | |
| | 4(火)、7(金) | | 第3回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 8(土)～9(日) | | | フレッシュマン・キャンプ |
| | 11(火)、14(金) | | 第4回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 13(木) | 成績優秀者表彰式 | | |
| | 18(火)、21(金) | | 第5回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 22(土)～23(日) | | | 第57回滋和2大学学長杯争奪総合定期戦 |
| | 25(火)、28(金) | | 第6回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 29(土) | 授業日(金曜日の授業) | | |
| 7 | 上旬 | | 自己分析セミナー | |
| | 2(火)、5(金) | | 第7回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 9(火)、12(金) | | 第8回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 13(土) | 補講日 | | |
| | 15(月) 海の日 | 授業日 | | |
| | 20(土) | 補講日 | | |
| | 22(月) | 春学期授業終了 | | |
| | 23(火)～8/5(月) | 春学期試験(予備日を含む) | | |
| 下旬 | | 留学生対象就職活動ガイダンス | 第36回滋賀大学グローバルセミナー | |
| 8 | 6(火)～9/30(月) | 夏季休業、集中講義 | | |
| 9 | 中旬 | | | SFA(学生・教員協議会) |
| | 下旬 | 成績発表(サクセス(Web)で確認) | | 第37回滋賀大学グローバルセミナー |

その他の情報は
大学のホームページから

滋賀大学のトップページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

メニューバー
学生生活・就職

- ◇履修・授業
- ◇課外活動
- ◇就職・進路支援
- ◇奨学金・授業料免除
- ◇大学生活サポート

《 秋学期 》

(注) 変更される場合があります。

| 月 | 日(曜日) | 授業関係 | 就職関係 | その他 |
|----|---------------|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| 10 | 1(火) | 秋学期授業開始 | | |
| | 3(木) | 経済学研究科 博士後期課程D3中間研究報告会 | | |
| | 14(月) スポーツの日 | 授業日 | | |
| | 上旬 | | 3回生就職希望者の 個別進路面談(3回生) | |
| | 中旬 | | | 定例学生総会、体育総会、文サ連総会 |
| | 中旬 | | | 学内ゼミナール大会 |
| | 上旬~11月下旬 | | 第1回~第8回就職ガイダンス(3回生) | |
| | 17(木) | 経済学研究科 博士後期課程D2研究報告会 | | |
| | 17(木) | 大学院経済学研究科 博士前期課程学位論文中間報告会 | | |
| | 19(土) | 授業日(金曜日の授業) | | |
| | 25(金) | 彦根地区キャンパス休講 | | |
| | 25(金) | | | 榎本杯争奪駅伝大会 |
| | 26(土)~27(日) | | | |
| 11 | 4(月) | 授業日 | | |
| | 中旬 | | | 留学説明会(〜カモンなのにGO〜) |
| | 下旬 | | 陵水会計人会による 学生説明会・懇談会(3回生) | 第38回滋賀大学グローバルセミナー |
| | 7(土)~8(日) | | | リーダーストレーニング |
| | 中旬 | | 第46回陵水懇話会(3回生) | |
| | 24(火)~1/3(金) | 冬季休業、集中講義 | | |
| 1 | 4(土) | 授業再開 | | |
| | 11(土) | 補講日 | | |
| | 17(金)~19(日) | 休講及び入構禁止 (大学入学共通テスト準備及びテスト) | | |
| | 25(土) | 補講日 | | |
| | 27(月) | 秋学期授業終了 | | |
| | 28(火)~2/10(月) | 秋学期試験(予備日を含む) | | |
| | 下旬 | | | 第39回滋賀大学グローバルセミナー |
| | 上旬 | | 彦根キャンパス学内就職セミナー 【学内業界研究会】(3回生) | |
| | 下旬 | | | SFA(学生・教員協議会) |
| | 24(金)~26(水) | 入構禁止 (前期日程入学試験準備及び試験) | | |
| | 11(火)~12(水) | 入構禁止 (後期日程入学試験準備及び試験) | | |
| | 26(水) | 卒業式(ひこね市文化プラザ) | | 卒業祝賀会 |
| | 下旬 | | | 第40回滋賀大学グローバルセミナー |

これらに関することは、下記までお問い合わせください

| | | | |
|---|--|--|--|
| ○授業・休学・退学に関すること 学務課教務係 0749-27-1031(ダイヤルイン) | ○学生生活・クラブ活動等に関すること 学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン) | ○就職・進学に関すること 学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン) | ○留学に関すること 国際交流課 0749-27-1430(ダイヤルイン) |
| 学務課大学院係 0749-27-1032(ダイヤルイン) | ○授業料免除・奨学金に関すること 学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン) | 就職支援室 0749-27-1156(ダイヤルイン) | 障がい学生支援室 0749-27-8166(ダイヤルイン) |